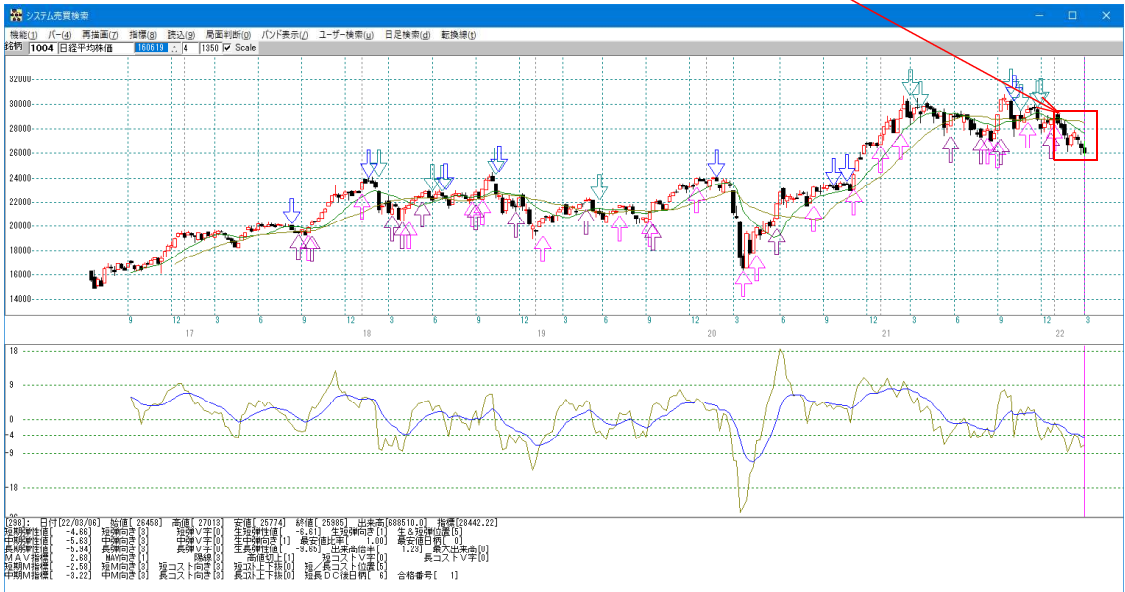


「日経平均の売りサインをつくる」

システム売買では、直近の下落で売りサインが点灯しませんでした。

今年に入ってから売りサインが点灯して欲しかった・・・。



これは、今までプログラムに組み込んである売りサインでは合致しない下落となったためです。

チャート上に表示させる売買サインは、いたちごっこです。サインが上手いこと表示されなかったら新たに作って、また今は上手いこといっていてもこれからサインと逆方向に相場が動いたら手を加える。といった事の繰り返しです。

ぐるぐると同じところを回っているようですが、これが売買サインを作る。という事なので、逃れるすべはありません。

カーブフィッティング・最適化といわれていますが、これが悪い。という意味ではありません。最適化の上に売買サインはある。と思って下さい。

先の事は分からない、でかたづけてしまうとそこで思考はストップしてしまいます。

過去、当たったんだから、将来に期待しよう。というのがテクニカル分析です。

J P法自体は、逆張り買いに強い手法です。もちろん、100%とはいきませんが、買い場となってから1000円程度の上昇であれば、高い確率です。

売りサインは、はっきりいって難しいです。

点灯後、担がれたり、そこが底近辺になってしまうことがそこそこあります。

J P分析週足の売りサインはこのような点灯をしています。601番から626番



直近拡大してみましょう。

21/11/28 には 4 つ点灯し、これから下げが期待出来ると思われましたが、保ち合いが続きました。その後、下に向かいましたが・・・。



22/01/09 ここで売りサインが点灯して欲しい。

今回は、その作成方法を解説します。

■簡単に売りサインを作る

売買条件作成機能を使います。

22/01/19 に縦バーを表示させ、

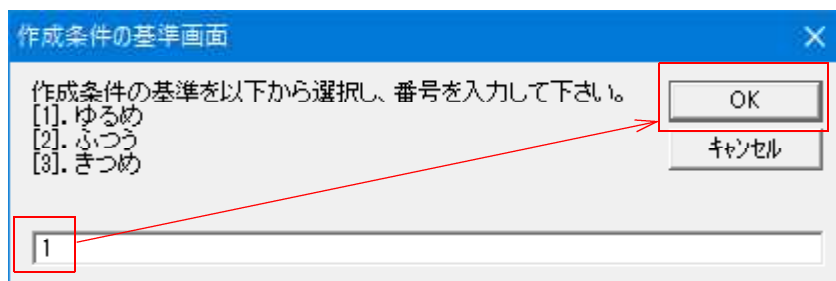
「条件」－「売買条件作成」をクリックします。

今回、ここでは 900 番シートに保存します。

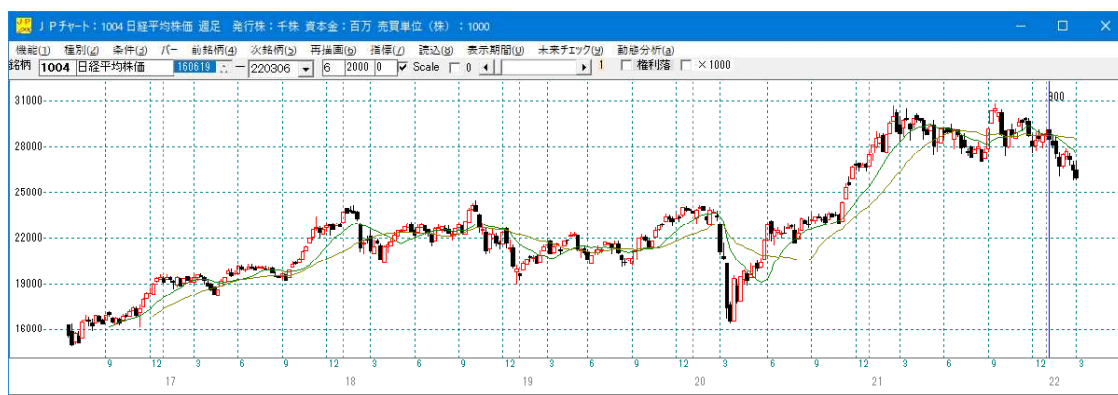
売り条件なので、「いいえ」をクリックします。



「1」 ゆるめで作成します。



サインが作成出来たら、「条件」－「チェック」から 900 番を表示させてみます。



「ゆるめ」としたので、22/01/09 以外でも表示されるのでは、と考えていましたが、そうはならず。この日しか点灯してきませんでした。

これでもいい、というならこれで完成です。

過去で合致していませんから、この日の作成は難しいといえます。

■過去でも表示させる

900番シートの内容

コメント 売り条件:1004日経平均株価 2022/01/09

短期弾性値	以上	-2	出来高倍率	以下	最高値・最低値	周期	出来高水準	周期	
短期弾性値	以下		最大出来高	周期	最高値/最低値	以上	出来高水準	以上	
中期弾性値	以上	-1	最大出来高か?		最高値/最低値	以下	短中M間カイリ	以上	
中期弾性値	以下		短弾	向き	5	最高値/最高値	周期	MACD①(4-20)	向き
長期弾性値	以上	-1	中弾	向き	5	最低値/最高値	以上	MACD②(5-20)	向き
長期弾性値	以下		長弾	向き	3	最低値/最高値	以下	短M/中M	位置
MAV指標	以上		MAV	向き		最高値	周期	生中弾/中弾	位置
MAV指標	以下		短期M	向き		最高値/安値	以上	生長弾/長弾	位置
短期M指標	以上		中期M	向き		最高値/安値	以下	株価水準	以上
短期M指標	以下		生短弾	向き		最低値	周期	株価水準	以下
中期M指標	以上		生中弾	向き		最低値/高値	以上		
中期M指標	以下		生長弾	向き		最低値/高値	以下		
生短弾性値	以上		短コスト	向き	1	最低値/高値	以上		
生短弾性値	以下		長コスト	向き	4	長コスト/前日安値	以上		
生中弾性値	以上		短/長コスト	位置		長コスト/前日安値	以下		
生中弾性値	以下		短コスト上/下抜け			長コスト/前日高値	以上		
生長弾性値	以上		長コスト上/下抜け			長コスト/前日高値	以下		
生長弾性値	以下		短長DC後日柄	以上		生短弾/短弾	位置		
最安値	周期		短長DC後日柄	以下		終値/高値	以上		
最安値比率	以上		短長GC後日柄	以上		終値/高値	以下		
最安値比率	以下		短長GC後日柄	以下		終値/安値	以上		
最安値日柄	以上		短弾/中弾	位置		終値/安値	以下		
最安値日柄	以下		中弾/長弾	位置		新値	周期		
最高値	周期		短弾/長弾	位置		安値更新本数	以上		
最高値比率	以上		陽線・陰線?			安値更新本数	以下		
最高値比率	以下		高値切り上/下がり			高値更新本数	以上		
最高値日柄	以上		安値切り上/下がり			高値更新本数	以下		
最高値日柄	以下		RJ指数	以上		足取り・5本設定			
出来高倍率	周期		RJ指数	以下		ハイ・ローバンド	周期		
出来高倍率	以上		RJ指数	向き		ハイ・ローバンド	向き		
			RJ指数	向き		短中M間カイリ	以下		

このままでは、過去に表示されませんので、数値を削ります。

こうなります。

コメント 売り条件:1004日経平均株価 2022/01/09

短期弾性値	以上	-2	出来高倍率	以下	最高値・最低値	周期	出来高水準	周期	
短期弾性値	以下		最大出来高	周期	最高値/最低値	以上	出来高水準	以上	
中期弾性値	以上	-1	最大出来高か?		最高値/最低値	以下	短中M間カイリ	以上	
中期弾性値	以下		短弾	向き	5	最高値/最高値	周期	MACD①(4-20)	向き
長期弾性値	以上	-1	中弾	向き	5	最低値/最高値	以上	MACD②(5-20)	向き
長期弾性値	以下		長弾	向き	3	最低値/最高値	以下	短M/中M	位置
MAV指標	以上		MAV	向き		最高値	周期	生中弾/中弾	位置
MAV指標	以下		短期M	向き		最高値/安値	以上	生長弾/長弾	位置
短期M指標	以上		中期M	向き		最高値/安値	以下	株価水準	以上
短期M指標	以下		生短弾	向き		最低値	周期	株価水準	以下
中期M指標	以上		生中弾	向き		最低値/高値	以上		
中期M指標	以下		生長弾	向き		最低値/高値	以下		
生短弾性値	以上		短コスト	向き		最低値/高値	以上		
生短弾性値	以下		長コスト	向き		長コスト/前日安値	以上		
生中弾性値	以上		短/長コスト	位置		長コスト/前日安値	以下		
生中弾性値	以下		短コスト上/下抜け			長コスト/前日高値	以上		
生長弾性値	以上		長コスト上/下抜け			長コスト/前日高値	以下		
生長弾性値	以下		短長DC後日柄	以上		生短弾/短弾	位置		
最安値	周期		短長DC後日柄	以下		終値/高値	以上		
最安値比率	以上		短長GC後日柄	以上		終値/高値	以下		
最安値比率	以下		短長GC後日柄	以下		終値/安値	以上		
最安値日柄	以上		短弾/中弾	位置		終値/安値	以下		
最安値日柄	以下		中弾/長弾	位置		新値	周期		
最高値	周期		短弾/長弾	位置		安値更新本数	以上		
最高値比率	以上		陽線・陰線?			安値更新本数	以下		
最高値比率	以下		高値切り上/下がり			高値更新本数	以上		
最高値日柄	以上		安値切り上/下がり			高値更新本数	以下		
最高値日柄	以下		RJ指数	以上		足取り・5本設定			
出来高倍率	周期		RJ指数	以下		ハイ・ローバンド	周期		
出来高倍率	以上		RJ指数	向き		ハイ・ローバンド	向き		
			RJ指数	向き		短中M間カイリ	以下		

※どの数値を削除していけば、いいのは慣れです。色々と削っていけば、だんだんと分かってきます。今回は、弾性値関係を残しました。

「条件」 - 「チェック」で表示させるとようになります。

これでもまずまずのところにサインが出ていると思います。



ここから、さらに点灯ポイントを削っていきます。残したい日は、18/10/14と22/01/09です。

「条件」 - 「読み取り」で900番の数値を表示させます。

続けて、「条件」 - 「チェック」で900番です。

このように表示されます。



この数値に
注目します。

縦バーを移動させると、バーが表示されている日の数値が表示されます。

この数値群から、サインを削除したい日と残したい日の違いを見つけ、シートに手を加えていきます。

この作業は細かいので、うんざりしてしまうかもしれません。
しかし、これを乗り越えないと次の段階へと進めませんので、がんばりましょう。

間違い探しのパズルだと思って、是非乗り越えて下さい。

残す日

18/10/14

```
[122]:日[18/10/14] 始[ 23550] 高[ 23589] 安[ 22323] 終[ 22695] 出[655488.0] 指標[22692.75]
短弾[ 2.03] 短弾向き[5] 生短弾[ -2.61] 生短弾向き[3] 生短/短弾[3] 短/中弾[5] 高値切上[3]
中弾[ 4.21] 中弾向き[5] 生中弾[ 3.95] 生中弾向き[5] 生中/中弾[3] 中/長弾[5] 安値切上[3]
長弾[ 5.16] 長弾向き[5] 生長弾[ 4.73] 生長弾向き[5] 生長/長弾[3] 短/長弾[5] 陽線[3] 足取り5本[31113]
MAV[ 4.00] MAV向き[1] 出来倍[ 0.00] 最大出来高[0] 出来高比率[ 0.91] 出来高水準[ .00]
短M[ 2.46] 短M向き[1] 短M/中M[4] Mカイリ[ 0.95]
中M[ 1.51] 中M向き[1]
R J[ 69.77] R J向き[5] Mロ-Mント[0]
短コスト[ 22921.5] 短コスト向き[1] 短コスト上下抜[3] 短/長コスト位置[4]
長コスト[ 22692.8] 長コスト向き[1] 長コスト上下抜[0]
長コスト/前日安値[ 0.96] 短長DC後日柄[ 0]
長コスト/前日高値[ 0.93] 短長GC後日柄[ 17]
最安値比率[ 0.00] 最安値日柄[ 0]
最高値比率[ 0.00] 最高値日柄[ 0]
最高値/最安値[ 0.00] 最高値/安値[ 0.00] 終値/高値[ 0.96] 安値更新[ 0]
最安値/最高値[ 0.00] 最安値/高値[ 0.00] 終値/安値[ 1.02] 高値更新[ 0]
MACD①向き[3] MACD②向き[5] 合格番号[ 900]
```

22/01/09

```
[290]:日[22/01/09] 始[ 29098] 高[ 29388] 安[ 28294] 終[ 28479] 出[486934.0] 指標[28729.12]
短弾[ -1.24] 短弾向き[5] 生短弾[ -2.02] 生短弾向き[5] 生短/短弾[3] 短/中弾[5] 高値切上[1]
中弾[ -0.13] 中弾向き[5] 生中弾[ -1.51] 生中弾向き[5] 生中/中弾[3] 中/長弾[4] 安値切上[3]
長弾[ -0.40] 長弾向き[3] 生長弾[ -2.08] 生長弾向き[5] 生長/長弾[5] 短/長弾[5] 陽線[3] 足取り5本[31311]
MAV[ -10.58] MAV向き[3] 出来倍[ 0.00] 最大出来高[0] 出来高比率[ 1.47] 出来高水準[ .00]
短M[ -0.91] 短M向き[1] 短M/中M[5] Mカイリ[ 1.45]
中M[ 0.54] 中M向き[3]
R J[ 39.98] R J向き[1] Mロ-Mント[0]
短コスト[ 28876.0] 短コスト向き[1] 短コスト上下抜[3] 短/長コスト位置[4]
長コスト[ 28729.1] 長コスト向き[4] 長コスト上下抜[3]
長コスト/前日安値[ 1.01] 短長DC後日柄[ 0]
長コスト/前日高値[ 0.99] 短長GC後日柄[ 12]
最安値比率[ 0.00] 最安値日柄[ 0]
最高値比率[ 0.00] 最高値日柄[ 0]
最高値/最安値[ 0.00] 最高値/安値[ 0.00] 終値/高値[ 0.97] 安値更新[ 0]
最安値/最高値[ 0.00] 最安値/高値[ 0.00] 終値/安値[ 1.01] 高値更新[ 0]
MACD①向き[5] MACD②向き[5] 合格番号[ 900]
```

この2つのみに共通する項目を見つけ、それをシートに記入していきます。

今回、注目したのは、生短弾です。これを「0」以下としました。

「-2」以下でもいいのですが、「0」のほうが切りがいいのでそうしました。

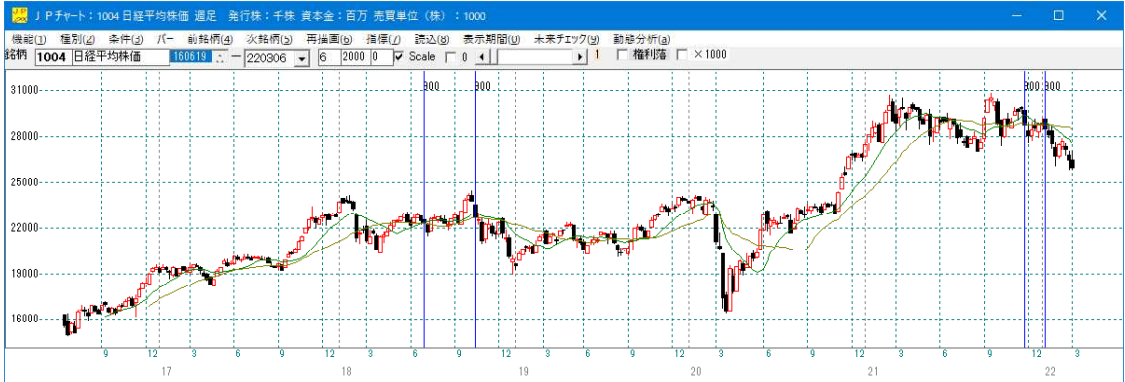
ノウハウ

通常、弾性値は数値が大きければ、株価が高い位置にあるので「売り」と考えるのが普通です。

しかし、今回「以上」としてしまうと、例えば「-3」以上ですが、サイン日が減りません。

そこで、「以下」の項目を使いました。このようにサインを作る時は、いつもの考えを一旦置いておき（数値が大きければ売り）以上、以下どちらが都合がいいのかを実際に入力し、サインを表示させ判断してみましょう。

「条件」 - 「チェック」 900 番 こうなりました。



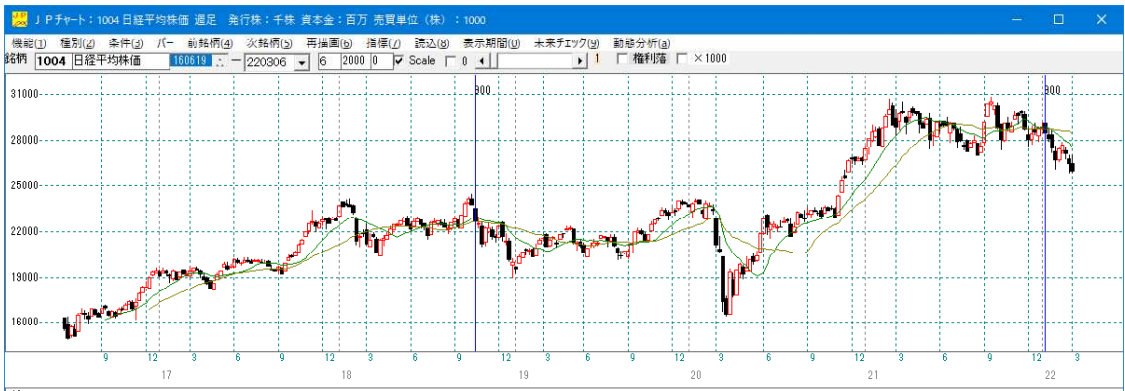
まだ削りたい日が残っています。

続けて、注目したのは「短長G C後日柄」です。

「10」以上としました。

18/10/14 は「17」で、22/01/09 は「12」ですから、「12」以上でもいいのですが、ここでも切りがいいように「10」以上としました。

「条件」 - 「チェック」 900 番 こうなりました。



これで完成です。

残したい日のみに表示されるようになりました。

これから将来のサイン点灯に期待しましょう。

ここまで簡単に書いていますが、「生短弾」と「短長G C後日柄」を見つけ出すために、色々試行錯誤しています。

ぱっと簡単にこのシートを完成させたわけではありません。

コメント 売り条件:1004日経平均株価 2022/01/09

短期弾性値 以上 -2	出来高倍率 以下	最高値・最安値 周期	出来高水準 周期
短期弾性値 以下	最大出来高 周期	最高値/最安値 以上	出来高水準 以上
中期弾性値 以上 -1	最大出来高か?	最高値/最安値 以下	短中M間カイリ 以上
中期弾性値 以下	短弾 向き 5	最安値・最高値 周期	MACD①(4-20) 向き
長期弾性値 以上 -1	中弾 向き 5	最安値/最高値 以上	MACD②(5-20) 向き
長期弾性値 以下	長弾 向き 3	最安値/最高値 以下	短M/中M 位置
MAV指標 以上	MAV 向き	最高値 周期	生中弾/中弾 位置
MAV指標 以下	短期M 向き	最高値/安値 以上	生長弾/長弾 位置
短期M指標 以上	中期M 向き	最高値/安値 以下	株価水準 以上
短期M指標 以下	生中弾 向き	最安値 周期	株価水準 以下
中期M指標 以上	生長弾 向き	最安値/高値 以上	
中期M指標 以下	生長弾 向き	最安値/高値 以下	
生短弾性値 以上	短コスト 向き	長コスト/前日安値 以上	
生短弾性値 以下 0	長コスト 向き	長コスト/前日安値 以下	
生中弾性値 以上	短/長コスト 位置	長コスト/前日高値 以上	
生中弾性値 以下	短コスト上・下抜け	長コスト/前日高値 以下	
生長弾性値 以上	長コスト上・下抜け	生短弾/短弾 位置	
生長弾性値 以下	短長DC後日柄 以上	終値/高値 以上	
最安値 周期	短長DC後日柄 以下	終値/高値 以下	
最安値比率 以上	短長GC後日柄 以上 10	終値/安値 以上	
最安値比率 以下	短長GC後日柄 以下	終値/安値 以下	
最安値日柄 以上	短弾/中弾 位置	新値 周期	
最安値日柄 以下	中弾/長弾 位置	安値更新本数 以上	
最高値 周期	短弾/長弾 位置	安値更新本数 以下	
最高値比率 以上	陽線・陰線?	高値更新本数 以上	
最高値比率 以下	高値切り上・下がり	高値更新本数 以下	
最高値日柄 以上	安値切り上・下がり	足取り・5本設定	
最高値日柄 以下	RJ指数 以上	ハイローバンド 周期	
出来高倍率 周期	RJ指数 以下	ハイローバンド 向き	
出来高倍率 以上	RJ指数 向き	短中M間カイリ 以下	

当然、色々試行錯誤しても作成出来ない場合があります。

その時は、周期を入力して数値が表示される項目を使います。

例えば、最安値と最高値の項目です。

ホームページからソフト利用事例集 第32、63回をご覧ください。

<http://www.neuralnet.co.jp/howjp/index.html>

またハイローバンドの項目も使いやすいと思われます。

「ローマは一日にして成らず」とはいいませんが、それなりに売買サインを作り込むという事は時間がかかります。

頑張りましょう！

その他シートで分かりにくい項目は、「最高値・最安値」があげられます。

こちらも、ソフト利用事例集 第395回で解説しました。ご覧ください。